

宮城県感染症発生動向調査情報

令和8年5月14日発行

2026.5.4 ~ 2026.5.10 - 第19週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所					仙台市	宮城県(含む仙台市)		
	仙南	塩釜	大崎	石巻	気仙沼		患者数	累計	
急性呼吸器感染症定点	急性呼吸器感染症*1	403 80.60	325 32.50	287 57.40	211 42.20	104 26.00	1,304 50.15	2,634 47.89	77,727
	インフルエンザ*2	3 0.60	3 0.30		4 0.80		5 0.19	15 0.27	17,102
	新型コロナウイルス感染症*2	4 0.80	14 1.40	4 0.80	8 1.60	3 0.75	11 0.42	44 0.80	2,914
小児科定点	RSウイルス感染症*2				1 0.33		4 0.27	5 0.16	268
	咽頭結膜熱*2			1 0.33			1 0.07	2 0.06	96
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*2	2 1.00	5 0.83	2 0.67	3 1.00		20 1.33	32 1.03	1,317
	感染性胃腸炎	35 17.50	15 2.50	4 1.33	3 1.00	13 6.50	24 1.60	94 3.03	2,945
	水痘	2 1.00	1 0.17	1 0.33	4 1.33		3 0.20	11 0.35	172
	手足口病			2 0.67			1 0.07	3 0.10	6
	伝染性紅斑						3 0.20	3 0.10	71
	突発性発しん	3 1.50	3 0.50	3 1.00	1 0.33		1 0.07	11 0.35	109
	ヘルパンギーナ*2			1 0.33				1 0.03	3
	流行性耳下腺炎	1 0.50					1 0.07	2 0.06	15
眼科定点	急性出血性結膜炎							0	2
	流行性角結膜炎		1 0.33				8 1.33	9 0.75	101
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							0	3
	クラミア肺炎(オウム病は除く)							0	0
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)							0	1
	マイコプラズマ肺炎							0	48
	無菌性髄膜炎							0	1
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2		1			2		
	川崎病								
	不明発疹症								

*1 急性呼吸器感染症は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

*2 急性呼吸器感染症に含まれる感染症

【入院患者(仙台市を含む基幹定点報告)】

インフルエンザ: 3例(前週比較: -1例)
 新型コロナウイルス感染症: 2例(前週比較: -4例)
 * 定点医療機関の院内感染を反映することもあります。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第17週採取分 ノロウイルスGⅡ群 3件
 第18週採取分 ノロウイルスGⅡ群 1件
 石巻管内 第17週採取分 ノロウイルスGⅡ群 4件

急性呼吸器感染症患者より

第19週採取分(5検体)

ヒトメタニューモウイルス 2件、エンテロウイルス属 2件、陰性1件
 ※ 一つの検体から複数の病原体が検出されることがあります。

【新型コロナウイルス ゲノム解析結果】 1/8に情報更新

解析結果は下記URLを参照ください。
<https://www.pref.miyagi.jp/site/covid-19/02-02.html>

参考 ～仙台医療センターウイルスセンターウイルス分離情報～

検査結果は下記URLを参照ください。
<https://nsmc.hosp.go.jp/Subject/26/virus/weekly.html>

4. 今週のコメント

【急性呼吸器感染症】

急性呼吸器感染症の定点当たりの患者報告数は、前週の73.85人から47.89人へと減少しました。ゴールデンウィーク期間中は医療機関が休診となるため、急性呼吸器感染症を含む感染症全般の患者報告数は実際より少なく報告されている可能性があります。5月は寒暖差や天候の変化が大きく体調管理が難しい時期です。感染症予防には咳エチケットの徹底や、手洗いなどを徹底してください。

【水痘】

仙南管内及び石巻管内で定点当たりの患者報告数が1を超え、水痘(入院例)の第19週までの患者報告数が6例と昨年同時期の報告数を上回っています。水痘は、水痘ウイルスによる感染症で、発熱とともにかゆみを伴う発疹(水ぶくれ)が全身に広がるのが特徴です。感染者の咳やくしゃみによる飛沫や空気感染、さらに水疱内容物との接触によって人から人へ感染します。感染予防にはワクチン接種が有効です。もし家族や身近な方が感染した場合は石けんと流水による十分な手洗いを徹底し、タオルの共用は避け、咳エチケットを徹底してください。

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし
 2類感染症: 結核
 気仙沼管内 女性1名
 仙台管内 女性2名
 3類感染症: 報告なし
 4類感染症: A型肝炎
 仙台管内 女性1名
 5類感染症: 劇症溶血性レンサ球菌感染症
 仙台管内 男性1名
 侵襲性インフルエンザ菌感染症
 仙台管内 男性1名
 侵襲性肺炎球菌感染症
 仙台管内 男性1名
 水痘(入院例)
 仙台管内 男性1名
 梅毒
 大崎管内 男性1名、女性1名(第18週)
 仙台管内 男性1名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

令和7年第15週から、国の基準が見直されるまでの間、警報開始/継続基準値及び注意報開始基準値については参考値として取り扱います。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
 電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
 HPアドレス: <https://www.pref.miyagi.jp/site/hokans/kansen-center.html>
 宮城県保健福祉部疾病・感染症対策課
 電話 022-211-3644

宮城県定点週報告対象疾病の推移

